

地域	鳥取県鳥取市	認定日	平成29年6月9日	6-29-90
事業分類	情報通信	テーマ分類	健康・福祉	

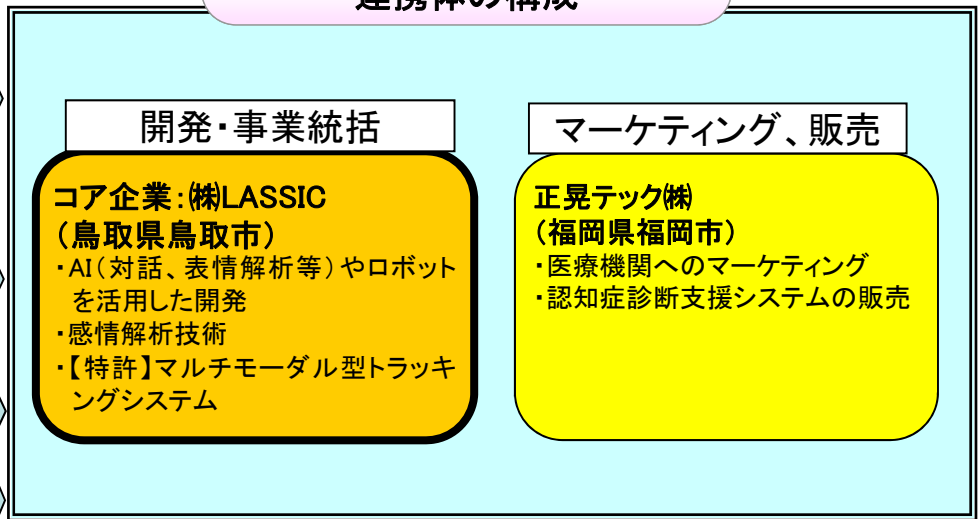
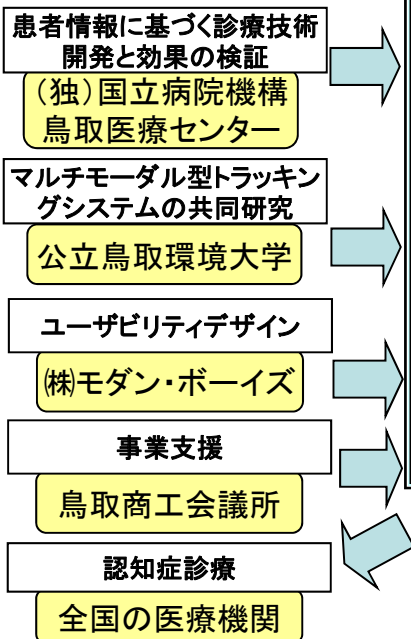
事業名:対話ロボット、IoT機器を用いた患者状態把握による認知症の診断支援サービスの事業化

○事業概要(新規性、市場性等)

- ・全国で認知症を患う人の数が2025年には700万人を超えると推計されており、厚生労働省は2015年に「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」を掲げ日本の認知症対策に乗り出している。
- ・認知症診療を行う病院にとって、認知症を適切に診療出来る医師の不足に加え、看護師、介護士数不足が深刻となっている。限られた人員の中でいかに患者のQOL(生活の質)を維持しつつ医療サービスを提供していくかが大きな課題となっているが、患者の状態把握は医療スタッフや家族からの主観的な観察情報に依存する部分が大きく、その評価にはバラつきがあるという現状がある。
- ・本事業では対話型ロボットやウェアラブルデバイス等IoT機器を用い、認知症患者の日々の表情、会話内容、バイタルデータ等を記録するシステムを構築する。そこで取得した情報を医師に伝えることで、医師の診断・処置などを支援するサービスである。
- ・システムで提供する機械対話機能が、ロボットやタブレット端末を通じ患者と会話を行う。日常会話や、昔の思い出に触れる会話を行い、患者とのコミュニケーションを行う。その際に認知力を確認する質問も盛り込み、患者の発言内容や表情から、患者の認知力や感情状態を分析しその推移を記録する。また、ウェアラブルデバイスで患者状態を記録しつつ、加速度センサや位置センサの値を用い、転倒検知や徘徊防止など、患者の見守りも行う。こうした機能を医療機関に提供し、患者のQOLを維持しつつ、医師の処置判断支援、医療スタッフの見回り業務等の負荷軽減に繋げる。

事業推進体制

連携体の構成



**開発・事業統括**

コア企業:(株)LASSIC  
(鳥取県鳥取市)

- ・AI(対話、表情解析等)やロボットを活用した開発
- ・感情解析技術
- ・【特許】マルチモーダル型トラッキングシステム

**マーケティング、販売**

正晃テック(株)  
(福岡県福岡市)

- ・医療機関へのマーケティング
- ・認知症診断支援システムの販売

データ取得・活用イメージ



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②低金利融資
- ③特許料減免処置 等